

愛知県(県域)

1 産地の概要

<対象品目>小麦

<産地の現状・課題>

愛知県の小麦作付面積は約6,000haである。本県小麦生産の特徴として、大規模経営体による作付割合が高い。

最近の資材高騰や環境負荷軽減の高まりから、薬剤散布技術及び施肥技術の改善が望まれている。また、大規模経営の観点から、さらなる省力化につながる技術の検証が望まれている。

2 検討体制

<愛知県組織と関係機関等の役割>

- 農業経営課(事務局)
- 農業革新支援センター(実証ほ調整、技術指導、検討会の開催、栽培マニュアルと産地戦略の作成)
- 普及指導センター(実証ほ調査、検討会の参加、JA及び農業者との調整、生育ステージ予測データ収集、栽培マニュアルと産地戦略の検討)
- JAあいち経済連(技術支援、検討会の参加)
- JA(調査補助、農業者との調整)
- 農業者(実証ほ管理、技術の検証)

3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

| 取組項目 | 作業段階 | 新たに取り入れる技術 |
|------------|-------|---|
| 化学農薬の使用量低減 | 雑草管理 | <取り入れる技術> GPS情報を活用した精密散布 <見込まれる効果>散布量の低減 |
| | 病虫害管理 | <取り入れる技術> AgriLookによる適期防除 <見込まれる効果>散布回数の低減 |
| 化学肥料の使用量低減 | 追肥 | <取り入れる技術> GPS情報を活用した精密散布 <見込まれる効果>追肥の化学肥料低減 |

<省力化に資する技術>

| 作業段階 | 新たに取り入れる技術 |
|-------|--|
| 病虫害管理 | <取り入れる技術>ドローン防除 <見込まれる効果>防除作業の省力化 |
| | 追肥 |

4 活動内容(予定)

<活動内容>

- GPS情報を活用した農薬・肥料の精密散布による化学農薬及び化学肥料の散布量低減及びAgriLookを活用した赤かび病適期防除技術の確立により、防除回数の削減について検証
- ドローンの活用による省力的防除及び光学センサーを用いた省力的生育診断技術について検証